

河内長野市第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な取り組みと、令和6年度の実施状況

政策分野	施策	内容	主な取り組み ※第5次総合計画・実施計画に位置づけられた事業	実施計画 実施No	R6実施状況	担当課
基本目標1 安定した雇用を創出する	施策1 地域産業の育成・支援		人材採用支援事業	31	○令和5年度に作成した、人材雇用に積極的な市内企業を紹介する「企業紹介ガイドブック」を広く配布し、市内での雇用促進等を図った。 ・掲載企業数:38社 ・印刷部数:2,500部	産業観光課
			産業活力向上事業	31	○公式LINEアカウントを活用した情報発信や、BCPを策定し防災力向上を図る事業者に対し補助金を交付。また、人材育成支援やオープンカンパニーイベントを開催し、市内事業者への支援を行った。 (各補助金実績)セミナー等補助金:33千円 工場等見学補助金:387千円 BCP補助金:571千円	産業観光課
			商業活動推進事業	31	○「河内長野市あきんどセミナー」を開催し、顧客獲得に向けた取り組みや売上拡大のための創意工夫について解説を行った。 セミナー開催日:令和6年10月30日 参加人数:10人	産業観光課
			産業振興推進事業	31	○土地区画整理事業の認可取得に向けた関係機関協議や、立地企業との不動産売買契約を行うために産業用地化サポート業務を実施。また、包括受託者との委託契約締結にあたっては、造成工事費用の妥当性を検証するため、事業費積算等業務を実施した。	産業観光課
基本目標2 新しいひとの流れをつくる	施策1 都市ブランドの推進	河内長野市スマートエッジング・シティ魅力向上事業		25	○住民を主体とした地域活動拠点「コノミヤテラス」の運営、買物支援・生活支援の取り組みの充実、子育て支援拠点の整備、住民主体による移動サービス南花台モビリティ「クルクル」の運行及び自動運転の実装に向けた取り組み、UR南花台団地集約事業に伴う跡地活用などにより、まちの活性化が図られるとともに、南花台でのこれまでの取組みを効果的に発信することにより、河内長野市の魅力向上を目指した。 ・地域活動の活動回数:920回、活動人数:9,960人、コノミヤテラス運営に関わる人数:192人 ・(仮称)南花台中央公園整備工事について、分離発注した土砂搬出工事を先行し、続く公園本体工事の入札において落札業者が決定した。 ・遠隔診療実証事業(患者宅とクリニック等をつなぐ実証実験 年間24回実施)	まちづくり推進課 まちデザイン課 ウェルネス推進課
			原動機付自転車の新課税標識(ご当地ナンバープレート)の導入	35	○原動機付自転車の新課税標識(ご当地ナンバープレート)を合計1,500枚作成し、令和6年12月2日から交付を開始した。令和7年3月31日までに248枚を交付し、市の魅力をPRした。	税務課
			多様な媒体による情報発信	35	○市公式LINEアカウントやX、Instagram、フェイスブックを運用し、市政情報や市の魅力などを発信した。また、各課に積極的な情報発信を働きかけるとともに、各課の発信作業を支援した。	シティプロモーション課
基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	施策2 移住・定住の促進	観光交流の振興	観光振興事業	33	○日本遺産に認定されたストーリーを活用した観光振興を図るため、「河内長野市日本遺産推進協議会」及び「女人高野日本遺産協議会」に対し、補助金を交付した。また、「日本遺産のまち かわちながの」を広くPRし、「集客と消費を高める観光振興の推進」を図るため、市内外からの更なる観光誘客に向けた本市の観光情報発信を実施した。 ・日本遺産デジタルスタンプラリーの実施 ・お城フェス等への出展 ・河内長野市観光振興計画の策定(素案) ・観光ポータルサイト改修 ・河内長野市多言語対応観光リーフレット作成	産業観光課
			道の駅「奥河内くろまるの郷」機能強化事業	33	○河内長野市観光振興計画において観光ハブ拠点として位置付けている「道の駅 奥河内くろまるの郷」の機能維持や利用者及び周辺地域住民の安全確保を目的に、花の文化園前駐車場法面工事を実施した。また、利用者及び周辺地域住民の利便性向上を図るため道の駅周辺の渋滞緩和等を目的として、令和7年度に実施する河川有料化に伴う門扉整備工事を実施した。	産業観光課
			産婦健康診査事業	12	○概ね産後2週間頃と、産後1か月頃に産婦健康診査を実施した。(産後8週以内まで受診可能) ・2週間健診受診数:339件、1か月健診受診数:331件	こどもファミリーセンター
基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	施策3 子育てと仕事の両立できる環境の充実	民間教育保育施設運営支援事業	婚活イベントへの支援	35	○9月の市広報紙にがん検診の特集記事を掲載し、10月1日のピンクリボンデーに合わせて、キックスと金剛寺でのライトアップ及びがん検診受診の周知・啓発活動を実施し、3月の大阪南医療センターがん診療アップ	シティプロモーション課
			子ども医療費助成事業	12	○大阪府が実施する健康サポートアプリ「おおさか健活マイレージスマイル」の登録会を市内各所で6回実施し、市民への周知と登録者を増やす取組を行い、個別相談などで利用促進を図った。 また、特定健診を受診した国民健康保険被保険者にポイント付与するなど、検診(健診)の受診促進を図った。	こどもまんな課
			子ども医療費助成事業	12	○子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和6年4月1日から助成対象年齢を「18歳到達年度末」まで引き上げた。	保険医療課
基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	施策3 特色のある教育の推進	英語多読資料の整備		15	○新たに182冊を受入れた。また市民の英語への関心を深めるための講座を2回、講師を招聘しない普及イベント(英語多読ひろば、主に成人向け)を3回実施した。(参加人数 のべ47人) ○多言語えほんのひろば、英語のおはなし会など児童向けイベントにて英語多読資料の紹介等を実施した。	社会教育第2課
			国・府・市指定文化財の保存の推進	16	○金剛寺国宝三尊や観心寺鉄燈籠など全23件の国指定文化財保存事業、福田家住宅管理費など全7件の府指定文化財保存事業、西代神楽保存継承など全10件の市指定文化財保存事業に対し、指導助言し、補助金を交付した。	社会教育第2課

政策分野	施策	内容	主な取り組み ※第5次総合計画・実施計画に位置づけられた事業	実施計画 実施No	R6実施状況	担当課
			河内長野版歳時記作成・活用事業	16	○令和5年度に引き続き市内の祭礼等の撮影と映像作成を行い、行事食を扱った絵本の原画と指定無形民俗文化財の冊子を作成した。作成した映像は市制70周年記念事業、地域住民を対象とした上映会、郷土歴史学習などで活用を行った。	社会教育第2課
基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	施策1	安全・安心な地域づくり	地域安全マップ作製	1	○加賀田小学校区において、地域主体によるワークショップを行い、地図上に危険な場所や安全な場所を示した地図を作成し、小学校区内の全世帯分を印刷し、配布した。	危機管理課
			地域防災リーダーフォローアップ講座	1	○令和元年度より、フォローアップ講座を開催してきたが、修了者の高齢化等の理由により、リーダーの人員が減少していることから、今後の地域防災リーダーの在り方も含めて検討を行った結果、今回は、講座の開催を見送った。	危機管理課
			防災行政無線更新計画調査事業	1	○市役所本庁舎に設置する親局から、放送を流す子局(スピーカー)までの情報伝達方法について、消防庁例示の、どの方式が市の状況に適しているかを評価した後、2システム(現在の同報系防災行政無線と携帯電話網を活用した情報伝達システム)を最終候補とし、整備費及び維持管理費について、比較検討を行った。	危機管理課
			避難所施設の強化・充実事業(マンホールトイレの整備)	1	○令和2年度より11か所の小中学校に計画的に整備を進めており、令和6年度は、南花台小学校・中学校の1か所に車いす用トイレ1基、一般用トイレ4基を整備した。これにより、11か所中10か所の整備が完了し、残りの1箇所についても、順次、整備を行う。	危機管理課
			災害時備蓄物資の充実	1	○アルファ化米2,200食、主菜・副菜等(調理不要なおかず等)1,908食、高齢者食(白かゆ)1,020食等を購入・備蓄した。	危機管理課
			河川改修事業(準用河川)	1	○加賀田川の測量設計業務を実施した。 ○加賀田川の管理用通路舗装工事を実施した。	公園河川課
			水路改修事業(排水路)	1	○上田町排水路の測量設計業務を実施した。 ○汐の宮町排水路及び上田町排水路の改修工事を実施した。	公園河川課
			砂防及び急傾斜地崩壊防止事業	1	○インターネットで土砂災害警戒区域等を簡単に調べるための手順書をホームページに掲載するとともに、庁舎カウンターに配置し案内を行った。 ○がけ地近接等危険住宅移転助成及び土砂災害特別警戒区域内既存不適格住宅補強助成について、市広報及びホームページに掲載し周知を	公園河川課
			河川改修事業(普通河川)	1	○西除川、河合寺川、天見川及び石見川の測量設計業務を実施した。 ○天見川及び河合寺川の改修工事を実施した。	公園河川課
			河川管理事業(調整池)	1	○南花台第1調整池の土砂浚渫を実施した。	公園河川課
			自動体外式除細動器(AED)コンビニ設置事業	1	○24時間営業のコンビニ26店舗にAEDを設置し、今後はコンビニの増減に対応するとともに、市内の公共施設等に設置しているAEDについても適正に管理する。	危機管理課
			消防団車両の更新	2	○第2分団(天野班)の消防団用CD-1型消防ポンプ自動車(総重量3.5t未満)1台を更新した。	危機管理課
			消火栓の設置	2	○消火栓の本体更新(21基)及び修理(10基)を実施し、消防水利の充実を図った。	危機管理課
			警察、防犯協議会など関係機関との連携強化	3	○河内長野防犯協議会に防犯事業を委託し、犯罪状況に応じた防止策の推進、自主防犯活動指導事業、特殊詐欺被害防止の推進、広報・啓発活動などを実施した。	危機管理課
			自動通話録音装置貸与事業	3	○自動通話録音装置を800台追加購入し、市民に対して無償貸出を行い、特殊詐欺被害の防止を図った。	危機管理課
			防犯カメラ(増設)事業	3	○子どもや高齢者を狙った犯罪が社会問題化する中で、平成28年度より防犯カメラを設置している。令和6年度においても、幹線道路や通学路を中心に15台設置(新設)した。	危機管理課
			都市公園整備事業(都市公園維持補修工事)	27	○清見台第9緑地において、歩行者等の安全性を確保するため、老朽化した擁壁の応急復旧工事を実施した。	公園河川課
			都市公園整備事業(公園緑地防災対策事業)	27	○美加の台第1緑地において、急傾斜地における土砂災害の防災対策工事を実施した。	公園河川課
			都市公園整備事業(都市公園整備工事)	27	○長寿命化計画に基づき、寺ヶ池公園のベンチ及びパーゴラの改修工事を実施した。 ○加賀田公園において、公園利用者に安心して使用していただくため、老朽化したトイレの改修工事を実施した。 ○松ヶ丘公園において、雨水排水を適切に処理するため、雨水浸透施設等の整備工事を実施した。	公園河川課
			施策2	暮らしやすく活力のある地域づくり	【再掲】河内長野市スマートエイジング・シティ魅力向上事業	25
	中心市街地活性化の促進	25			○旧保健センター用地の民間主導による活用に向け、民間事業者へのヒアリングを行うとともに事業手法の検討を行った。また用地の売却に向けて必要な調査等を実施した。	まちづくり推進課 まちデザイン課
	小山田西地区地域活性化の促進	25			○令和4年度に設立された土地区画整理準備組合による事業化に向けた取組みに対して事業計画書案の作成や事業化に必要な都市計画手続き、土地区画整理組合設立に向けた地権者合意形成等の支援を行った。	まちデザイン課
	高向・上原地区地域活性化の促進	25			○事業の円滑な推進を目的に、土地区画整理事業を施行している土地区画整理組合及び一括業務代行者に対して、土地区画整理事業や農地転用、企業誘致等に係る助言等の支援を行った。 また、地区に接続する市道拡幅工事に向けた地元調整を行った。	まちデザイン課

政策分野	施策	内容	主な取り組み ※第5次総合計画・実施計画に位置づけられた事業	実施計画 実施No	R6実施状況	担当課
			公共交通網再構築のための実証運行事業	29	○市の新たな賑わい拠点である道の駅や商業地と従来からの拠点である市役所、鉄道駅、南部団地を結ぶ新ルートでバスの実証運行を実施した。 ○河内長野市内の南海電鉄と南海バスが1日乗り放題となるQRコードを活用したデジタル乗車券の導入実験を実施した。	まちづくり推進課
			地域まちづくり支援拠点運営事業	36	○地域住民やNPO、事業者、教育機関など多様な担い手の連携を促進し、健康づくりや子育て支援など、地域の課題を解決し、住民の生活の質を高める多様な取り組みを行い、様々な人の交流を支援した。 ・ゆいテラス多目的スペースの利用者数:10,119人	まちづくり推進課
	施策3	健康寿命の延伸	がん検診事業	10	○9月の市広報紙にがん検診の特集記事を掲載し、10月1日のピンクリボンデーに合わせて、キックスと金剛寺でのライトアップ及びがん検診受診の周知・啓発活動を実施し、3月の大阪南医療センターがん診療アップデートにてがん検診の受診啓発を行った。 ○受診率が低下するなかで、個別受診勧奨を行うとともに、集団がん検診による5がん検診の実施や、特定健診とのセット検診の実施など、受診機会の拡充、がん検診の受診促進に努めた。 (個別受診勧奨対象者) ・乳がん検診 43歳～69歳までの奇数年齢になる女性市民に、受診勧奨はがきの送付、特定の年齢(年度末41歳)の女性に無料クーポン券を送付した。 ・子宮頸がん検診 令和5年度未受診の20歳、22歳～49歳の女性市民に受診勧奨はがきを送付、特定の年齢(年度末21歳)の女性市民に無料クーポン券を送付した。 ・胃、大腸、肺がん検診 60歳～69歳の市民に受診勧奨はがきを送付し	健康推進課
			アスマイル推進事業	10	○大阪府が実施する健康サポートアプリ「おおさか健康マイレージアスマイル」の登録会を市内各所で6回実施し、市民への周知と登録者を増やす取組を行い、個別相談などで利用促進を図った。 また、特定健診を受診した国民健康保険被保険者にポイント付与するなど、検診(健診)の受診促進を図った。	健康推進課 保険医療課
	施策4	地域包括ケアシステムの深化	生活支援体制整備事業	6・7	○生活支援コーディネーターを配置し、協議体活動において検討・協議を重ね、生活支援・移動支援の仕組みや居場所づくりの拡充などにつなげた。 ・第1層(市全域)協議体開催:6回(生活支援3回、移動支援2回、講演会1回) ・第2層(小学校区)協議体開催:22回(高向小学校区(生活支援)8回、楠小学校区(移動支援)1回、楠翠台・楠台(移動支援)13回) ・地域ささえあいフォーラムの開催:1回 ・その他各地域のささえあい活動を個別に支援(生活支援活動、移動支援活動、地域食堂、居場所づくり、体操のつどい、見守り等)	地域福祉高齢課
			認知症施策の推進	7	○国の認知症施策推進大綱、条例に基づき、「認知症地域支援推進員」を各地域包括支援センターに1名ずつ配置し、地域における支援体制づくりを進めた。 ・認知症サポーター養成講座:12回開催、講演会:1回開催、認知症家族介護者教室:2回開催、認知症初期集中支援件数:18件(会議開催回数9回)、認知症高齢者等個人賠償責任保険事業令和6年度被保険者数:121人	地域福祉高齢課
			介護予防普及啓発事業	7	○自宅にインターネット接続されたスマートスピーカーを設置し、運動動画の配信及び日常生活の状況を把握しながら、自主的な介護予防活動を支援した。 ・利用者数:61人、体力測定:13人	地域福祉高齢課
			地域介護予防活動支援事業	7	○地域住民が主体となった介護予防活動に対して補助金を交付することで、介護予防活動や支え合い活動の推進・活性化が図られた。 ・街かどデイハウス事業:3団体、通いの場:8団体、複合型生活支援団体:5団体	地域福祉高齢課
	施策5	地域で支えあえる環境づくり	民生委員協議会補助事業	6	○民生委員児童委員協議会が実施する研修や広報・啓発など、各活動に対して補助金を交付し、民生委員の負担軽減や民生委員活動の活性化を図った。 ・令和6年度相談件数:3,371件、広報紙「みじか」、機関紙「なごみ」の発行	地域福祉高齢課
			コミュニティソーシャルワーカー配置事業	6	○地域の身近な相談窓口として、見守り・発見・つなぎ機能の強化を図り、地域福祉を推進した。また、潜在的なニーズを掘り起こして寄り添いながら地域資源につなげるアウトリーチ事業及び居場所や活動の場等、社会とのつながりをマッチングする参加支援事業を行った。 ・CSWの配置:7人、相談件数:2,345件 ・アウトリーチ事業相談件数:19人(延べ167件)、参加支援事業相談件数:9人(延べ82件)	地域福祉高齢課
			【再掲】生活支援体制整備事業	6	○生活支援コーディネーターを配置し、協議体活動において検討・協議を重ね、生活支援・移動支援の仕組みや居場所づくりの拡充などにつなげた。 ・第1層(市全域)協議体開催:6回(生活支援3回、移動支援2回、講演会1回) ・第2層(小学校区)協議体開催:22回(高向小学校区(生活支援)8回、楠小学校区(移動支援)1回、楠翠台・楠台(移動支援)13回) ・地域ささえあいフォーラムの開催:1回 ・その他各地域のささえあい活動を個別に支援(生活支援活動、移動支援)	地域福祉高齢課
			地域福祉活動支援事業	6	○地区(校区)福祉委員会活動に対して補助金を交付し、地域福祉人材の育成や地域福祉ネットワークの構築を推進した。	地域福祉高齢課
			社会福祉協議会への支援	6	○地域福祉の中核的担い手である社会福祉協議会に対して補助金を交付することで、地域福祉活動の推進・活性化が図られた。	地域福祉高齢課
			地域力強化推進事業	6	○地域課題解決に向けて検討できる場の設置と地域で相談を受け止められる体制づくりを進めた。 ・地域パートナーの配置:13人、地域ワークショップの開催:13地区402名参加、みじかサロンの開催:13地区(延べ38回)400名参加、地域住民と支援者等の連携促進の場の開催:11回166名参加	地域福祉高齢課
			多機関協働による包括的相談支援体制整備事業	6	○相談支援包括化推進員を6名配置し、多機関が連携して地域課題を検討するための重層的支援会議を開催するとともに、庁内外の支援者同士の連携促進のため、研修会を開催した。また、複雑化・複合化したケースの対応のため、ケース会議を開催するとともに、気軽に弁護士に相談できるよう、法律支援事業を実施した。 ・全体会議開催:1回、コア会議開催:4回、レビュー会議開催:2回、仕組みづくりワーキング開催:2回 ・ケース会議開催:4回 ・定例法律相談:6件、随時法律相談:19件	地域福祉高齢課

政策分野	施策	内容	主な取り組み ※第5次総合計画・実施計画に位置づけられた事業	実施計画 実施No	R6実施状況	担当課
			成年後見制度利用促進事業	6	○令和6年度に後見支援センターを設置し、成年後見制度に関する研修会の実施や親族後見人及び市民後見人の支援に加え、課題解決が困難なケースについて専門職による相談会を開催した。また、ワーキングや協議会を開催し、関係機関と意見交換や情報共有を行い、連携体制を構築した。 ・研修会開催:2回76名参加、相談件数延べ:34件、ワーキング開催:3回、協議会開催:1回	地域福祉高齢課
			高齢者等総合見守りシステム運営事業	7	○高齢者宅に、認知症の人のひとり歩きによる事故を防止するための機能や自宅での熱中症防止機能を備えた総合的に見守るシステムである、緊急通報装置を設置し、24時間体制で緊急時に対応できるシステムの運営を行った。 ・登録者数:746人(設置台数:707台)	地域福祉高齢課
			加齢性難聴補聴器購入費助成事業	7	○医師が必要と認める耳に装用する補聴器購入に要する経費の2分の1以内の額(上限25,000円)を助成した。 ・実績:36人	地域福祉高齢課
			障がい者への理解を促進する取組	8	○精神科医による講演会(年2回)や支援者向け多職種連携についての研修会、誰もが出展できる作品展、誰もが参加できる将棋大会(各年1回)を開催し、障がい者との交流を通じて、広く障がい者への理解を促進した。	くらしサポート第2課
			手話施策の推進	8	○聴覚障がい者福祉指導員2名を配置するとともに、手話通訳・要約筆記者の派遣を行った。手話奉仕員養成講座入門課程・基礎課程、手話ステップアップ講座、パソコン要約筆記体験講座等を実施した。市民向け手話体験教室及び職員向け手話研修を実施するとともに、9月23日の手話言語の国際デー及び国際ろう者週間に合わせて、キックスをイメージカラーの青色にライトアップし、パネル展示や図書館での手話に関する本の展示等を行った。 ・手話通訳者派遣件数217件(派遣時間数548時間)、要約筆記者派遣件数5件(派遣時間数89時間) ・手話奉仕員養成講座入門課程16名・基礎課程16名、手話ステップアップ講座14名、パソコン要約筆記体験講座2名	くらしサポート第2課
			【再掲】河内長野市スマートエイジング・シティ魅力向上事業	25	○住民を主体とした地域活動拠点「コノミヤテラス」の運営、買物支援・生活支援の取り組みの充実、子育て支援拠点の整備、住民主体による移動サービス南花台モビリティ「クルクル」の運行及び自動運転の実装に向けた取り組み、UR南花台団地集約事業に伴う跡地活用などにより、まちの活性化が図られるとともに、南花台でのこれまでの取組みを効果的に発信することにより、河内長野市の魅力向上を目指した。 ・地域活動の活動回数:920回、活動人数:9,960人、コノミヤテラス運営に関わる人数:192人 ・(仮称)南花台中央公園整備工事について、分離発注した土砂搬出工事を先行し、続く公園本体工事の入札において落札業者が決定した。 ・遠隔診療実証事業(患者宅とクリニック等をつなぐ実証実験 年間24回実施)	まちづくり推進課 まちデザイン課 ウェルネス推進課
	施策6	広域連携の推進	南河内広域行政共同処理事業の効率的・効果的な推進	37	○令和6年度は、共同処理事業の効率的な運営のために定期的にワーキング会議を実施した。また、令和6年4月から広域福祉課及び広域まちづくり課の体制を見直したところであり、今後、体制見直しに係る検証と状況に応じたフォローアップを行う。	秘書企画課
			河内長野市・橋本市・五條市による広域連携の推進	37	○三市における交流促進と若年層に向けて地域を発信する取り組みとして、各市サッカー連盟が主催する小学生三市交流サッカー大会に、広域連携協議会として共催した。また、広域的な連携を図り子育て世代向けにバスツアーを実施した。	秘書企画課